

2017年度第1回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日時： 2017年7月9日（日）12：00～17：30

会場： 大正大学（東京都豊島区西巣鴨3-20-1）

ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2017年度第1回の全国研修会は、大正大学で開催致します。全体講演では、京都大学こころ未来研究センターの河合俊雄先生に、「世界のなかの日本の箱庭療法：伝統的背景と可能性」という演題で、お話して頂きます。箱庭療法は、ユング派の心理療法の枠組みの中で、スイスで生まれたものですが、世界に先んじて日本で最も盛んになった療法でもあります。それを可能にした日本独自の自然観、こころ観に触れながら、今後の箱庭療法の可能性について興味深いお話をして頂けることと思います。

今回は、6つの分科会と、震災対策用分科会を1つ設けております。6つの分科会のうち3つの分科会で、事例募集しております。河合俊雄先生も、全体会に引き続き、養護施設での事例を募集しておられます。また、震災対策用分科会では、震災から6年経った現在もなお福島の実状に真摯に取り組む続ける、次の世代を担う福島の高校生に、その活動の報告をして頂きます。今後の福島について、皆で考える機会を提供して頂けることと期待しております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2017年4月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 川戸 圓

<開催要領>

1. 定 員：200名
2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方とします。
 - ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
 - ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
 - ③箱庭療法を導入・または導入を検討中の学校等教育機関の保健・養護領域に従事されている方
 - ④心理臨床を専攻する大学院生
3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円
4. 研修ポイント：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規定別項第2条(3)により、一般参加者は2ポイント、事例呈示者は4ポイント取得となります。

5. 研修内容

(1) 全体会：12：00～14：00

テーマ：「世界のなかの日本の箱庭療法：伝統的背景と可能性」

講師：河合 俊雄氏（京都大学こころの未来研究センター）

概要：

ユング派の心理療法は、日本において箱庭療法として導入されたとして過言ではなく、おそらく世界で最も早く箱庭療法が盛んになり、発展したと思われる。また世界各地の箱庭と比べてみて、日本には独自の箱庭表現があると考えられる。そのような日本での箱庭療法の展開を可能にした、自然観、こころ観について、日本における曼陀羅の理解、内面化の特殊性などから解説し、今後の箱庭療法の可能性について考えたい。

(2) 分科会：14：30～17：30

以下の7グループに分かれ、分科会を行います。

事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示の希望者は、参加申込書裏面に事例概要を記入のうえ参加申込をしてください。

● 第1分科会 岩宮 恵子（島根大学）

「クレームの裏側に潜むもの—『怒りを伴う傷』と『かなしみ』の視点から考える—」

学校現場でSCとして関わっていると、常識的な理解を越えた要求や怒りの表出によって、教員が対応に苦慮している保護者の面接を担当することがある。そのような保護者をひとりのクライアントとして深く理解しようとするとき、SCは学校の論理との間で引き裂かれるような地点に追い込まれることは少なくない。学校とのトラブルを抱えた保護者面接の経過から、混乱の発信源としての保護者の傷にどうアプローチすることが可能なのか、そしてその時、学校との現実的な連携はどのように行うことが子どもの成長を真に支えることになるのかを検討していきたい。（事例提供者：高見友理氏）

● 第2分科会 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「養護施設における箱庭・プレイセラピー」

児童養護施設などで実施される心理療法・プレイセラピーにおいては、生活史や家族関係に大きな問題が認められることが多く、セラピストの視点もそこに向きがちである。しかし心理療法で関わってみると、そのような生活史的な背景とは別に、驚くべき心理学的なポテンシャルを持っている場合も多く、それを特にイメージを通した関わりで伸ばしていくことが可能である。子どもの持つ心理学的なポテンシャルと課題をどのように見立て、またそれがどのようにセラピーで展開可能なのかを事例から検討したい。<事例募集>

● 第3分科会 川戸 圓（川戸分析プラクシス）

「水平軸と垂直軸の特殊なあり様と心理療法によるその変遷

—発達障害と診断された人たちの箱庭に着目して—」

横に広がる水平な関係性を維持することは大切なことであろう。この水平な関係性の広がりや心的世界での水平軸のあり様と深く関わっていると考えられる。同様に、縦に広がる垂直な関係性、すなわち、高く上方に伸びる関係性および深く下方に降りる関係性もまた重要であろう。この垂直な関係性の広がりや心的世界での垂直軸のあり様と関わっていると考えられる。この分科会では、講師の自験例を2、3事例あげて、彼らの箱庭作品、風景構成法、バウムを手がかりに発達障害の人の水平軸と垂直軸について考えてみたい。そうすることで彼らの心のあり様に近づいてみたい。また心理療法の進展によってもたらされる水平軸・垂直軸の変遷にも目を向けてみたい。参加者の皆さんからのご意見・ご感想を、是非、お聞かせ頂き、議論を深めたいと思います。（講師自身の自験例）

● 第4分科会 田中 康裕（京都大学）

「風景構成法からみた発達障害の心理療法」

発達障害の認知特性としてメタ的な認知の強さや日常的な生活経験の特徴として当事者感のなさが指摘されているが、これらの基盤には、眺めているだけで分け入らないという彼らの世界体験の様式の偏りがあるのだろう。このような偏りは一方では、妄想と見紛うまでに一方的で主観的な出来事の意味づけにつながり、他方ではどこまでも出来事に影響されえない独特の超然としたあり方につながる。この分科会では、長期にわたる大人の高機能発達障害の心理療法の経過を、風景構成法の変化を中心に読み解き、いかにしてクライアントが世界、あるいは風景に分け入ることが可能となったのかについて論じたい。（事例提供者：西谷晋二氏）

● 第5分科会 横山 恭子（上智大学）

「遊ぶことのできる空間を作ること」

プレイセラピーをしていて、遊ぶことのできない子供に出会うことがある。遊ぶことのできない子供との遊びは即物的で、苦しかったり、興味を惹かれないということもしばしばある。そのような子供との遊びの中で、どのような関わりが遊ぶことを可能にしていくのか、その子供の心にどのようにすれば遊ぶことのできる空間が生まれるのか、考えてみたいと思っている。演者の考えを述べる中で、演者の事例についても触れたいと思っているが、参加者の中で、一緒に考えるための事例を提出して下さる方があれば、より視野が広がるだろうと考えられるので、大変ありがたいと考えている。<事例募集>

● 第6分科会 吉川 眞理（学習院大学）

「心因性症状を持つ子どもの箱庭に学ぶ」

子どもたちのチック、夜尿、遺尿、場面緘黙、強迫行動といった症状は、言葉にできない心の葛藤が、身体や行動において表現されている状況として理解できます。これらの心の葛藤の表現の場として箱庭が提供されたとき、静かに、あるいはダイナミックに心のドラマが展開されていきます。箱庭に表現されたイメージの流れより、症状の背景にある葛藤をくぐりぬけながら進んでいく心の発達のプロセスについて、参加者の皆さんとともに学んでいきたいと思えます。<事例募集>

● 震災対策用分科会1（S1） 岸 良範（高輪心理臨床研究所）、渡部 純夫（東北福祉大学）

「高校生が調べた福島の現状」

東日本大震災から6年の歳月が流れましたが、福島は依然として震災継続中です。そのようななか、次の時代を担っていく若者たちが、福島のことを真剣に考え活動を行っていることは、心強く頼もしい限りです。東京電力福島第一原発事故発生後から放射線量の測定を行い、福島の現状を冷静に世界に発信し、事故後の第一原発の見学も果たした高校生の取り組みについて話を聞きながら、福島への偏見や風評を払拭するため、次世代までを視野に入れた今後の福島について考えてみたいと思えます。多くの方の参加をお待ちしております。（報告者：法井美空氏（福島県立福島高校3年生）、石田あやめ氏（福島県立福島高校2年生））

各分科会会場につきましては、当日受付にて配布のプログラムにてお知らせいたします。

6. 参加お申し込みについて

- ・ 同封の参加申込書所定欄に必要事項をご記入の上、連絡用ハガキと併せて返信用封筒にてお申し込み下さい。連絡用ハガキには必ず住所・氏名をご記入の上、お手数ですが62円切手をお貼り下さい。
- ・ お申し込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ 参加申込締切：2017年5月24日（水）必着

7. 参加の可否について

- ・ 申込締切後、連絡ハガキにて参加の可否をご通知致します。

8. 参加費振込みについて

- ・ 参加確定の連絡ハガキを受領後に、以下の口座に参加費を送金して下さい。
口座番号：00900-8-233788 加入者名：一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会
※振替用紙の通信欄には受付番号並びに「2017年度第1回全国研修会参加費」とご記入ください。
- ・ 参加費振込締切：2017年6月9日（金）（納入された参加費のご返金はできませんので予めご了承ください。）
- ・ 振込締切までに入金を確認した方には分科会番号・名前等の記載された名札カード・名札ケースをお送りいたします。当日は名札・名札ケースをご持参いただき、身に着けてご参加下さい。
*振込締切以降に参加費を入金された方につきましては、当日、受付にて名札をお渡しいたします。
*名札ケースは研修会終了後、返却下さいますようお願い申し上げます。

9. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会事務局気付「一般社団法人日本箱庭療法学会研修会」係
住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 新元社内
FAX：06-6233-8529 E-mail：office@sandplay.jp
*お手数ですがメールまたはFAXにてお問合せください。

10. 会場案内



■電車をご利用の場合

- ・都営地下鉄三田線 … 西巣鴨駅下車 徒歩2分
- ・JR 埼京線 … 板橋駅東口下車 徒歩10分
- ・都電荒川線 … 新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩7分

■東京駅から (約30分)

- ・東京 (山手線内) ⇒ 巣鴨 (都営三田線乗換) ⇒ 西巣鴨

■バスをご利用の場合

- ・池袋駅東口から都バス … 堀割バス停下車 徒歩2分
6番乗り場 西新井駅前行き、北車庫前行き、新田一丁目行き
7番乗り場 浅草雷門行き
12番乗り場 とげぬき地蔵行き
13番乗り場 浅草寿町行き

■羽田空港から (約60分)

- ・東京モノレール … 羽田空港ー浜松町 (山手線乗換)ー巣鴨 (都営三田線乗換)ー西巣鴨
- ・京浜急行 (都営浅草線直通「エアポート快特」) … 羽田空港ー三田 (都営三田線乗換)ー西巣鴨